

令和4年度 事業報告

本会は、スポーツを普及、振興し、県民の体力向上とスポーツ精神の高揚を図り、明朗快活なスポーツ文化の進展に寄与するため、加盟団体をはじめ関係機関・団体等との連携・協働を図り、各種活動を積極的・効果的に推進した。

本年度は、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した上で、県民体育大会では、すべての競技を実施し、北信越国民体育大会及び国民体育大会に、本県選手団が参加し、輝かしい成績を収めた。

さらに、総合型クラブの登録・認証制度が開始され、各クラブの安定的なクラブ運営を目指し事業を展開した。

また、県営体育施設等においては、こまめな消毒や換気に努めるとともに利用人数の制限を設けるなど感染症防止対策を徹底して、適切な管理運営に努めた。

I 法人運営

1. 諸会議等の開催

事業の適時適切な推進を図るため、次のとおり諸会議等を開催した。

会議名	回数	期 日	主な審議内容
評議員会	1回	令和4年6月22日（水）	事業報告・決算
	2回	令和5年3月16日（木）	名称・定款変更
	3回	令和5年3月31日（金）：書面審議	役員を選任
理事会	1回	令和4年4月1日（金）：書面審議	代表理事・業務執行理事の選定
	2回	令和4年5月25日（水）	事業報告・決算 役員・評議員の推薦
	3回	令和4年6月22日（水）	代表理事・業務執行理事の選定
	4回	令和4年11月16日（水）	表彰者選考
	5回	令和5年3月16日（木）	名称・定款変更 事業計画・予算
	6回	令和5年3月29日（水）：書面審議	役員を推薦
専門委員会 総務委員会	1回	令和4年5月25日（水）	事業報告・決算 役員・評議員の推薦
	2回	令和4年7月8日（金）：書面審議	委員長・副委員長の選任
	3回	令和4年11月16日（水）	表彰者選考
	4回	令和5年3月16日（木）	名称・定款変更 事業計画・予算

	普及委員会	1回	令和4年7月8日(金): 書面審議	委員長・副委員長の選任	
		2回	令和4年11月9日(水)	体協 TOYAMA・普及振興事業・スポ少事業等	
	強化委員会	1回	令和4年4月15日(金)	強化事業について	
		2回	令和4年7月8日(金): 書面審議	委員長・副委員長の選任	
		3回	令和4年8月8日(月)	未来のアスリート18期生募集	
		4回	令和4年12月22日(木)	未来のアスリート18期生2次選考	
	スポーツ医科学委員会	1回	令和4年7月8日(金): 書面審議	委員長・副委員長の選任	
		2回	令和5年3月24日(金)	事業報告・計画審議	
	特別委員会	国民体育大会出場選手選考委員会	1回	令和4年8月8日(月)	国体選手選考
			2回	令和4年8月25日(木)	
3回			令和4年12月22日(木)		
4回			令和5年1月19日(木)		

2. 各種スポーツ関係団体の功労者及び優秀選手等の表彰

永年にわたり本県のスポーツ振興に貢献し、その功績が顕著と認められた者や本県のスポーツの向上に尽力し、その成績が特に優秀な団体及び個人を令和5年1月17日(火)に表彰した。

種 類	受賞者・受賞団体数	
特別感謝状	個人 1名	—
特別表彰	個人 21名	団体 5団体
国体表彰	個人 10名	団体 11団体
感謝状	個人 29名	—
計	個人 61名	団体 16団体

3. 競技団体への会計諸帳簿検査

競技団体への経理について、より適切に事務処理を行うため、適宜顧問税理士による経理指導を行った。抽出した富山県スキー連盟ほか8団体について、令和4年11月28日(月)、29日(火)、12月1日(木)の3日間、税理士等により会計諸帳簿(現金出納簿や領収書等)検査などの個別指導を実施した。

4. スポーツガバナンスコード遵守状況

スポーツガバナンスコード(スポーツ庁策定・日本スポーツ協会決定: 本会向け17審査項目)について、令和5年3月29日に自己説明・公表(令和4年度分)した。

II 公益目的事業

1. スポーツ普及振興事業

県民が生涯にわたりスポーツに親しめるよう、健康レベル・体力レベルに応じた事業を展開した。各事業の実施については、専門性を有する理事等による専門委員会及び特別委員会を構成し、意見等を反映しながら、各分野の資格を有する当協会の職員が中心となって各事業を企画・立案し、関係団体と連携を図りながら事業を行った。なお、指導者のスポーツ指導における暴力の根絶に向け、本協会が実施する各種研修会等あらゆる機会を通して、周知徹底を図った。

(1) 県民のスポーツ振興及び広報啓発事業

① スポーツに関する広報啓発事業

各種イベントや行事予定など、スポーツに関する情報を広く県民に周知するために、次の広報誌等を作成するとともに、だれでも必要な情報等を簡単に検索できるよう、親しみやすいホームページの充実を図った。

ア. 広報誌の発行

名称	発行部数	配布先	発行回数	発行元
体協TOYAMA	2,000部/回	加盟団体、市町村教委、アスリート卒業生 ほか	年1回	県体育協会
スポーツパレス便り	2,500部/回	市町村関係団体、県立学校ほか	年11回	県総合体育センター
ジムワールド	1,400部/回	呉西地区県立学校、近隣企業ほか	年12回	県西部体育センター
HEALTH SWIM in TAKAOKA	1,800部/回	県立学校、近隣企業ほか	年4回	県高岡総合プール
スポーツリーダーとやま	2,500部/回	公認スポーツ指導者、加盟団体、市町村教委ほか	年1回	県公認スポーツ指導者協議会

イ. インターネットを利用した情報発信

各種スポーツ情報ネットワークの中核として、機能の充実を図った。

(ア) 本会HP上での各種スポーツ情報の発信

(イ) 地域スポーツ団体やスポーツ指導者パスネットとやまの情報発信

(ウ) メールを利用したスポーツに関する情報（JISSや日本スポーツ協会等）の発信

(エ) 上記（ア）～（ウ）と、スポーツ情報ネットワーク《県委託事業：県総合体育センター》を活用し、本県の各種スポーツ情報の充実を図った。

② エンジョイスportsサポート事業

地域住民の誰もが参加できるスポーツ活動に対し助成を行い、スポーツに対する興味・関心を高めるとともにスポーツ人口の拡大を図った。

実施市町村	実施事業	参加者数
富山市ほか10市町村	ソフトボール教室&いのちの教室 ほか13事業	1,972名

③ 生涯スポーツ推進事業

県民が生涯にわたり、明るく豊かで、活力ある生活を営むために、それぞれの興味、関心、適性等に応じてスポーツを生活の中に位置づけ、主体的にスポーツ活動を楽しむことができる環境づくりの推進を図った。

ア. 巡回指導・視察 とやまスポレク交流大会 2022 富山地区ほか

イ. 研修会の開催

(ア) 地域スポーツ指導者研修会

期 日	会場・講師・内容	受講者数
令和4年6月4日(土)	県総合体育センター 綿谷 千鶴 氏 (NPO 法人いきいき・のびのび健康づくり協会理事) 実技・講義『ロコモ予防のための機能改善体操』	31名
	県総合体育センター 加藤 真由美 氏 (日本こどもフィットネス協会 公認インストラクター) 実技・講義『日本中の子ども達を元気にしよう！ ～遊びから始めるカラダづくり運動～』	19名

(イ) 地域スポーツスキルアップ研修会 ※富山県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会と共同開催

期 日	会場・講師・内容	受講者数
令和5年3月1日(水)	県総合体育センター+オンライン 渡邊 優子 氏 (NPO 法人希楽々 理事長兼ゼネラルマネージャー) 講演「地域との融合～総合型クラブの可能性～」 グループディスカッション<集合参加者のみ> テーマ「スポーツによる地域課題から考えよう」	34名

(ウ) (公財) 日本スポーツ協会公認アシスタントマネージャー養成講習会(専門科目)

期 日	会場・講師・内容	受講者数
令和4年9月3日(土) ～4日(日)	県総合体育センター 富山大学 准教授 神野賢治 氏 「生涯スポーツ論」 ほか10講座	14名

ウ. スポーツ指導者パスネットとやまの運用

「スポーツ指導者パスネットとやま」登録者情報更新、照会の他、公認スポーツ指導者協議会での事業周知、公認スポーツ指導者へ登録案内を送付した。

エ. 総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度登録審査委員会

令和4年度から開始される登録・認証制度について県内60クラブに案内し、27クラブから申請があった。登録審査委員会を令和4年8月26日(金)に開催し、登録24クラブ、登録準備段階である準登録3クラブを承認した。

(2) 県民体育大会開催事業

広く県下にスポーツを普及・振興し、県民の健康と体力の増進並びに競技力の向上を図り、明るく豊かな県民生活の創造に寄与するため、次のとおり開催した。

① 第75回富山県民体育大会（夏季競技）

季	競技	期 日（中心会期）	会 場	参加者数
夏季	陸上競技 ほか41競技	令和4年7月23日（土） ～7月25日（月）	富山市 ほか9市4町	20,913名

大会成績 （二部郡市対抗）	区分	1位	2位	3位
	一般	富山市	高岡市	氷見市
	中学	富山市	高岡市	南砺市

② 第76回富山県民体育大会（冬季競技）

季	競技	期 日	会 場	参加者数
冬季	スケート競技 ほか2競技	令和4年11月19日（土） ～令和5年3月5日（日）	富山市 ほか1市	650名

(3) スポーツ指導者の養成

① スポーツ指導員養成講習会開催事業

県民のスポーツニーズが多様化する中で、専門性をもった指導員の養成が望まれているところであり、(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度の資格取得講習会を開催した。

ア. 日本スポーツ協会公認指導者養成講習会

期 日	資格名	競技名	会 場	参加者数
令和4年8月13日（土） ～11月27日（日）	コーチ1	バレーボール ほか 2競技	県総合体育センター ほか 2会場	64名

イ. 富山県公認スポーツ指導者研修会

期 日	会場・講師・内容	受講者数
令和4年12月4日（日）	富山大学 黒田講堂 二ノ丸 友幸 氏 （プロラグビーコーチ・人材育成プロフェッショナルコーチエデュケーター） 講演 「新しい時代に求められる自考型人材の育成法 ～変わるべきは指導者である！～」他	202名

(4) スポーツ少年団育成事業

日本スポーツ少年団が掲げる「一人でも多くの青少年にスポーツの喜びを提供する」、「スポーツを通して、青少年のからだところを育てる」という理念に基づき、本会が設置する富山県スポーツ少年団において、地域社会全体で子どもたちを育て、将来にわたり健全な生活を送れるよう、各種事業を展開した。

① 組織の充実

ア. 組織の整備強化

(ア) スポーツ少年団指導者顕彰事業

期 日	会 場	受賞者数
令和5年2月23日(木)	県総合体育センター	13名

イ. 活動の充実

(ア) 富山県スポーツ少年団競技別総合交流大会

期 日	実施競技	会 場	参加者数
令和4年6月11日(土) ～9月25日(日)	サッカー競技 ほか 11競技	富山市 ほか5市1町	2,489名

(イ) 地域交流促進事業

期 日	実施スポーツ少年団	会 場	参加者数
令和4年11月3日(木)	南砺市スポーツ少年団	南砺市福光総合グラウンド	55名
令和4年12月24日(土) ～12月25日(日)	富山市スポーツ少年団	アイザックスポーツドーム	200名

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により一部中止

(ウ) 母集団育成事業

期 日	会場・実施スポーツ少年団	参加者数
令和5年1月21日(土) ～2月25日(土)	氷見市・氷見市スポーツ少年団 ほか1市・1市スポーツ少年団	115名

② 指導体制の整備

ア. 各種講習会・研修会

(ア) 第5回ジュニアスポーツフォーラム指導者全国研究大会

期 日	開催地	参加者数
令和4年6月12日(日)	東京都	1名

(イ) 北信越ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会

期 日	開催地	参加者数
令和4年11月26日(土) ～11月27日(日)	福井県	8名

(ウ) 富山県スポーツ少年団指導者研修会

期 日	会場・講師・内容	受講者数
令和5年2月23日(木)	県総合体育センター 伊藤 雅充 氏(日本体育大学体育学部教授) 「プレーヤーズセンタードコーチングを支える コミュニケーションスキルを高めよう！」	80名

イ. スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会

期 日	会場・内容	受講者数
令和4年10月1日(土) ～11月6日(日)	オンライン	129名
令和4年11月13日(日) 令和4年12月7日(水)	県総合体育センター グループワーク 県総合体育センター 欠席者グループワーク	

③ 交流活動の推進

ア. 国際交流の推進

日独スポーツ少年団同時交流

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止

イ. 全国的・地域的交流の推進

(ア) 全国交流大会

期 日	実施競技	開催地	参加者数
令和4年8月4日(木) ～8月7日(日)	軟式野球	奈良県	20名
令和4年8月11日(木) ～8月14日(日)	ホッケー	東京都	15名
令和5年3月25日(土) ～3月27日(月)	剣道	新潟県	8名
令和5年3月24日(金) ～3月27日(月)	バレーボール	静岡県	27名

(イ) 北信越ブロック交流大会

期 日	実施競技	開催地	参加者数
令和4年7月30日(土) ～7月31日(日)	バドミントン	長野県	10名
令和4年7月2日(土) ～7月3日(日)	軟式野球	新潟県	39名
令和4年11月5日(土) ～11月6日(日)	バレーボール	長野県	13名

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により一部中止

(5) 総合型地域スポーツクラブ連絡協議会運営事業

令和4年度から運用開始となった総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度を受け、登録24クラブ、準登録3クラブが(令和4年11月1日～令和6年3月31日)認定された。総合型地域スポーツクラブの公益性を地域社会に周知するとともに、地域課題の解決、各クラブの安定的な運営を目指し、各種事業を展開した。

① 組織の充実

地域スポーツクラブ推進体制基盤強化事業

期 日	実施クラブ	参加者数
令和4年4月7日(木)～ 令和5年1月28日(土)	富山市・NPO法人富山スイミングクラブ ほか 5市2町1村 18クラブ	4,711名

② 交流活動の推進

とやまスポレク交流大会 2022

期 日	主管クラブ・内容	会 場	参加者数
令和4年8月27日(土)	くれは総合型スポーツクラブ ニュースポーツ体験 ほか	総曲輪 グラントプラザ	417名
令和4年9月23日(金)	NPO法人しもむら スポーツクラブまいけ パークゴルフ交流会 ほか	下村 パークゴルフ場	192名
令和4年10月2日(日)	NPO法人おやべスポーツクラブ ニュースポーツ体験 ほか	クロスランドおやべ	248名
令和4年11月23日(水)	うおづスポーツ・天神文化スポーツクラブ ニュースポーツ体験 ほか	ありそドーム	683名

③ クラブ活動活性化の推進

富山県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会研修会【再掲】

期 日	会場・講師・内容	受講者数
令和5年3月1日(水)	富山県総合体育センター+オンライン 渡邊 優子 氏 (NPO 法人希楽々 理事長兼ゼネラルマネージャー) 講演「地域との融合～総合型クラブの可能性～」 グループディスカッション<集合参加者のみ> テーマ「スポーツによる地域課題から考えよう」	34名

2. スポーツ強化推進事業

国民体育大会や全国大会等で優秀な成績を収めることは、県民に大きな夢と感動を与え、大きな活力となる。このことから、国民体育大会をはじめ、全国や世界の檜舞台で活躍できる選手の育成を目指し、関係団体と連携を図りながら、合宿・遠征事業をはじめ各種強化事業を実施し競技力向上に努めた。

(1) 県民の競技力向上の推進

① 国民体育大会等開催事業

ア. 第43回北信越国民体育大会

第43回北信越国民体育大会(福井県開催)は、31競技39会場で開催された。

(ア) 大会概要

会 期	早期開催 令和4年5月4日(水)～8月14日(日) 中心会期 令和4年8月19日(金)～21日(日) 後期開催 令和4年8月26日(金)～28日(日)
開催地	福井県下7市3町 石川県1市 富山県1市
実施競技	カヌー競技 ほか30競技
参加人数	選手・監督707名 本部・顧問18名 計725名

(イ) 選手団等

喜多 進 団長 ほか724名

第77回国民体育大会本大会ブロック代表数 53代表獲得

イ. 国民体育大会

3年ぶりに開催された第77回大会本大会は、男女総合成績(天皇杯)は29位、女子総合成績(皇后杯)も29位でした。

また、特別国民体育大会冬季大会のスケート競技会・アイスホッケー競技会は青森県八戸市・南部町、スキー競技会は岩手県八幡平市で開催され、冬季大会終了時点で男女総合成績は16位でした。

(ア) 大会概要

回	季	期 日	開催地 (参加者数)	成 績
77	本大会	会期前 令和4年9月10日(土) ～9月19日(月)	栃木県 宇都宮市 (440名)	入賞数※ 59
	中心会期 令和4年10月1日(土) ～10月11日(火)			

特別	冬季大会	スケート・アイスホッケー	令和5年1月28日(土) ～2月5日(日)	青森県 八戸市・南部町 (32名)	入賞数 4
		スキー	令和5年2月17日(金) ～2月20日(月)	岩手県八幡平市 (69名)	入賞数※9

※競技別総合成績を含む

(イ) 選手団等

本大会 新田 八朗 団長 喜多 進 副団長 ほか 439 名

冬季大会

・スケート競技会 田中洋一郎 団長 ほか 31 名

・スキー競技会 田畑 裕明 団長 ほか 68 名

② 競技力向上事業

ア. 国体へ向けた選手強化

(ア) 合宿・遠征事業

強化指定選手等の強化を図るため、県内合宿・県外遠征・県外優秀チーム招へいを計画的に実施した。

(イ) 強化指定事業

選手指定：少年種別 37 競技 618 名 成年種別 41 競技 514 名 計 1,132 名

スタッフ指定：40 競技 総監督 24 名 各種別監督 113 名 コーチ 78 名 計 215 名

(ウ) アドバイザー・トレーナー招へい事業

7 競技に 7 名のアドバイザー、19 競技に 24 名のトレーナーを招へいし、強化練習会等で指導を受け、県内指導者の資質の向上と本県選手の競技力向上を図った。

(エ) 選手強化対策補助事業

国体での上位入賞を目指し、競技団体ヒアリング等を通じて各競技団体の現状の把握に努め、効率よく強化事業が展開されるよう競技団体との連携を密にした。また、競技団体強化担当者が、各種全国大会等での競技力調査を実施し、本県の戦力分析や優秀選手の発掘に努めた。

イ. 将来に向けた優秀選手の育成

とやまスポーツ道場開催事業

中学校や高等学校の有望な逸材を発掘し、県内の拠点スポーツ施設において長期的な展望のもとに育成・強化を図った。

内 容	競技数	参加者数
練習会、講習会	アイスホッケー競技 ほか 19 競技	732 名

③ 未来のアスリート発掘事業

スポーツ能力に優れた児童を見出し、競技団体、学校、家庭と連携を図りながら、将来のスポーツ界を担う人材育成のサポートを行った。

ア. 17期生（令和4年1月指定）74名

（ア）育成プログラムの実施

実施内容	実施回数	会場
「メンタルトレーニング」 奈良教育大学名誉教授 岡澤 祥訓 氏	6回	県総合体育センター 富山健康パーク 山野スポーツセンター (1泊2日 合宿)
「スポーツ栄養」 日本スポーツ協会公認スポーツ栄養士 舘川 美貴子 氏	2回	
「コミュニケーション」 (株)プロジェクトアドベンチャージャパン取締役 難波 克己 氏	1回	
「コンディショニング」 (公財)富山県体育協会 山地 延佳 氏	5回	
「ファルトレクトレーニング」 (公財)富山県体育協会 柿谷 朱実 氏	3回	
「コーディネーショントレーニング」 (一社)コーチングバリュー協会 東根 明人 氏	1回	
「コーディネーショントレーニング(投)」 県西部体育センター 宮島 秋子 氏	1回	
「コーディネーショントレーニング(走)」 県総合体育センター 中山 雄大 氏	2回	
「スポーツ講演会」 (株)トナミ運輸 園田 啓吾 氏 (バドミントン競技)	1回	

（イ）NTC視察代替事業

期日：令和5年2月11日（土）

場所：オリンピックミュージアム・NTC施設紹介等・国立競技場視察（試合観戦）

人数：引率者5名 17期生61名（男子39名・女子22名）

イ. 18期生60名（令和4年度5年生）とジュニア指定者10名（令和4年度4年生）

18期生は、4月からプログラムを開始する計画に変更し、募集選考を行った。また、「ジュニア指定者」枠を新設し、1年早くプログラムに参加させ、更なるスポーツ能力の向上を図るため、競技団体からの推薦に限定して募集・選考を行った。

実施内容	実施日	会場
企画委員会（1次選考）	11月17日（木）	県総合体育センター
測定会（2次選考に向けた）	12月3日（土）	
企画委員会（2次選考）	12月22日（木）	
体力測定・オリエンテーション	2月5日（日）	

ウ. 奨励賞受賞者の選考

1 期生から 16 期生の修了生を対象に、各種スポーツ大会で活躍し、その功績が顕著と認められた 4 名を選考した。

エ. 修了生サポートプログラム

体力測定 2 回（8 月・3 月）104 名 メンタルトレーニング・栄養講習 1 回 57 名

オ. 修了生活躍状況の掲示

県総合体育センター正面入口横にボードを設置し、修了生の活躍状況を掲示した。

※現在 17 期生まで累計 1,099 名（うち 日の丸をつけた選手 49 名）

④ 競技スポーツ振興事業

小学生、中学生を対象に、スポーツ教室、記録会及び練習会を実施し、競技スポーツに対する興味・関心を高めることにより、競技スポーツ人口の拡大を図った。

内 容	競技数	参加者数
記録・練習会	スケート競技 ほか 31 競技	9,052 名
教 室	スケート競技 ほか 18 競技	3,946 名

⑤ TOYAMA アスリートマルチサポート事業

本県競技力の一層の向上を目指し、各種強化事業と併せ、選手の発育・発達段階に応じた適切で、より効果的な医科学サポートを実施するとともに、県総合体育センター、県西部体育センター及び県高岡総合プールと連携し、選手へのサポート体制のさらなる拡充に努めた。

さらに、監督はじめコーチ・スポーツドクター・トレーナー等と連携を図りながら、個々の選手の体力測定結果等に基づくスポーツ医科学的サポートを積極的に展開し、全国や世界の檜舞台で活躍できるアスリートの育成に取り組んだ。

また、国(スポーツ庁)が競技力向上事業の一環として進めている「ハイパフォーマンスセンターネットワークの構築」事業において、日本スポーツ振興センターからHPSC (ハイパフォーマンススポーツセンター) ネットワーク連携機関 (アスリート支援：体力測定) に県総合体育センターが指定(令和 4 年 10 月 26 日～令和 10 年 3 月 31 日)された。

ア. 委員会等の開催

会議名	期 日	実施内容
委員会	令和 4 年 5 月 27 日 (金)	R3 事業報告・R4 事業計画

スタッフミーティングについては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止

イ. サポート内容

区分	主な内容	人数・回数等
医・科学サポート	メディカルチェック 栄養サポート メンタルサポート アンチ・ドーピング研修	21 競技 28 種目 794 名
サポートスタッフ 中央講師の派遣	大会・強化合宿への スタッフ派遣	大会 106 日 強化合宿 19 日
調査・研究	H P S C との連携	2 回 (ハイパフォーマンススポーツセンター ネットワーク連携機関「JISS フィット ネスチェック」ほか)

ウ. スタッフ研修

期 日	会場・内容	参加者
令和 5 年 3 月 15 日 (水)	国立スポーツ科学センター 「ハイパフォーマンススポーツセンター ネットワークの構築」事業に係る 課題抽出検討会	県総合体育センター 中山 雄大

⑥ スポーツ医・科学研修会等開催事業

ア. アンチ・ドーピング教育・啓発

国体選手を中心としたアンチ・ドーピング教育及び啓発活動の実施を通して薬物乱用や誤用の認識を高めるため、指導者や強化・普及担当者を対象とした講習会を開催し、健全なスポーツ活動を推進した。

期 日	会場・講師・内容	参加者数
令和 4 年 6 月 25 日 (土) ～令和 5 年 1 月 29 日 (日)	県総合体育センター ほか 3 会場 富山県薬剤師会 宮林紀子氏 ほか 4 名 「ドーピングとは・うっかりドーピングとは・ 検査について・TUE 申請とは」等	109 名

※参加対象者 バドミントン競技 ほか 4 競技 令和 4 年度富山県体育協会強化指定選手等

イ. 問診票による健康診断

県体育協会が指定する強化指定選手及び国民体育大会選手 1,107 名に対し、問診票による健康状態調査を実施した。女性アスリートには、女性アスリート用の問診票も活用している。

⑦ 全国的大会等開催助成事業

全国的・国際的の大会や日本リーグ等レベルの高い大会への開催運営費を補助した。

実施期間	令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月
実施競技	スポーツクライミング第 10 回リードユース日本選手権 ほか 8 大会

⑧ 海外派遣選手激励事業

スポーツをする選手たちに夢と希望をあたえるとともに、スポーツ人口の拡大に繋げることを目的に、国際大会へ日本を代表として出場する選手・監督に激励費を渡した。

国際大会	助成大会	2022年U17アジア選手権（レスリング） ほか17大会
	派遣人数	延べ 25名
	派遣先	キルギス共和国 ほか 17ヶ国

⑨ スポーツ交流事業

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止

3. スポーツ施設を活用した各種事業と効率的な管理運営

県民が安全かつ快適にスポーツができるよう県総合体育センターをはじめとするスポーツ施設の環境を整え、県民の生涯スポーツの普及振興を図るとともに、健康・体力・生きがいに寄与するため、次の各種事業を実施した。

(1) スポーツ施設等を活用した各種事業と効率的な管理運営

① スポーツ施設管理運営事業

施設管理業務とスポーツ振興のソフト事業を一体的に推進するとともに、効果的かつ効率的なサービスの提供に努めた。また、スポーツ人口の拡充を図るため、利用者のニーズに合わせた管理運営を実施した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、非接触体表面温度測定器・足踏式消毒器を設置するとともに、「3つの密」を回避するなど感染症防止対策を徹底し、安全かつ安心して利用いただけるように努めた。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、利用人数は前年度比、約21%増加したものの、令和元年度（ピーク時）と比べると約80%に留まった。

ア. 県営体育施設（指定期間5年間 平成30年4月～令和5年3月）

施設名	利用人数	施設名	利用人数
県総合体育センター	210,338名	県西部体育センター	111,091名
県高岡総合プール	79,917名	県営富山弓道場	6,844名
県漕艇場	15,033名	県上市カヌー競技場	3,614名
計		426,837名	

イ. 県体協体育施設

施設名	利用人数	施設名	利用人数
アオイスportsハウストレーニング場	7,721名	山野Sportsセンター	2,497名
屋内相撲練習場	1,321名		
計		11,539名	

(2) 各種Sports教室開催事業

Sportsを始めるときっかけと楽しむことができる場を広く提供するとともに、それらによって作られた自主グループ活動の支援を行うために、次の各種教室を展開した。

Sports教室開催事業の実施状況

施設名	教室	実施回数	延べ受講者数
県総合体育センター	親子チャレンジ	48回	1,100名
県西部体育センター	Enjoyバドミントン ほか3教室	57回	496名
県高岡総合プール	初級スイム ほか39教室	1,284回	18,302名
県営富山弓道場	弓道教室	96回	1,414名
県漕艇場	ボート教室	中止	中止
県上市カヌー競技場	カヌー体験教室	14回	365名
計		1,499回	21,677名

Ⅲ 収益目的事業

本会が管理運営する県総合体育センターほか5施設に自動販売機を設置し、飲料等を提供した。

また、本会の公益目的事業の推進に資するための付随事業として、日頃Sportsに親しみのない県民がSports施設を知っていただくことで、今後のSports活動に拍車をかけるとともに、個々の体力に応じてSportsに親しむ契機になることを期待し、管理運営するSports施設の会議室等を公益目的事業以外で貸与した。